

## ☆★図書館内の展示★☆☆

入口近く、「図書委員会ニュース」で先生方に紹介していただいた本・図書委員オススメの本の展示を今年度のものにしました。校内ビブリオバトルでチャンプ本になった本、台東区POPコンテストで入賞した本なども新たに置きました。本屋大賞を展示していた所には校内貸出の多い本、「ダ・ヴィンチ」の「BOOK OF THE YEAR」、など2023のベストセラーのうち白鷗図書館で所蔵している本に替えていく予定です。今まで展示していた本はブックリストにします。※3年研修旅行コーナー、つくりました。



## 今月の新着図書Pickup!

### 『幕府海軍 ペリー来航から 五稜郭まで』 金澤裕之 中公新書

12月に講演して下さった防衛大学の准教授で本校卒業生が著作を寄贈して下さいました。ペリー来航などを受け、1855年創設された幕府海軍は、長崎海軍伝習、咸臨丸太平洋横断、幕長戦争、函館戦争をへて歴史的役割を終えます。人材や構想、艦船、造修施設などの遺産は明治海軍へと引き継がれました。様々な人物が登場します。

### 『10分で名著』 古市憲寿 講談社現代新書

12の名著や古典について、その道のプロと著者が読み方や読みどころを対談。各回冒頭にその名著の「基礎知識」のまとめあり。「神曲」では「一言でいえばどいう話なんでしょう？」なんて聞いている。そのほか「源氏物語」「失われた時を求めて」「相対性理論」「社会契約論」「ツラトウストラ」「わが闘争」「ペスト」「古事記」「風と共に去りぬ」「国富論」「資本論」どんな内容か知るのにも、読むためにも役立つのではないのでしょうか。

### 『夜明けのはざま』 町田そのこ ポプラ社

2021年の本屋大賞で映画化された「52ヘルツのクジラたち」著者の最新作。とある地方都市の葬儀社で働く人々の連作短編集。「弱者が逆境に立ち向かう物語を書いてきましたが、いつ自分も加害者になるかわからない紙一重の感情と、取り返しのつかない後悔を背負ったときに人はいかに贖罪すべきなのかということも、今作では描いてみたかった」「これからも、みなさんが“私の物語だ”と思える作品を書いていきたい」(ダ・ヴィンチ2024年1月号)